

## 学校から解剖実習をなくそう！キャンペーン

学校での解剖実習をなくすために、学習指導要領の改訂を求める署名にご協力ください

小・中・高校（以下、学校）において、いまだ、生徒たちにカエルやネズミなどの動物の解剖実習をさせているところが数多くあります。

「かわいそう」「気分が悪くなる」などの理由で解剖を嫌がる生徒は多くいますが、成績に影響するのではないかと、先生に嫌われるのではないかとといった不安から、泣く泣く解剖に参加する生徒も少なくありません。

私たちは、動物にとっても、生徒にとっても残酷な解剖実習をすべての学校からなくすため、文部科学大臣に解剖実習の事実上の禁止を求める署名運動を開始しました。



### ■ 解剖は、禁止されておらず、やるもやらないも学校や教師の考え方一つ

現在、学校に対して解剖実習の実施は義務付けされていませんが、禁止もされていないことから、学習指導要領の「動物の体のしくみ」「生殖・発生のしくみ」などの課題に対して、理科や生物の担当教師が安易に実施するケースが後を絶ちません。つまり、解剖実習をするかしないかは、学校や教師の判断に任せられており、日本において、解剖は野放しの状態になっているのです。

### ■ 解剖実習は児童生徒に悪影響を与える

青少年による凶悪犯罪と、その前段階における動物虐待の関連性は、すでに国内外で実証されています。そして、動物を殺したり、その死体を粗末に扱うことが青少年の精神面にいかに大きなダメージと悪影響を与えるかが明らかになってきた昨今、解剖実習に対しても批判は大変高まっています。フランス、オランダ、デンマーク、スイス、アルゼンチン、イスラエル、スロバキアなどでは、解剖実習を法律で禁止するなどの規制を設けているほどです。

### ■ 動物を犠牲にしない優れた学習方法がある

動物の体の仕組みなどを学ぶ方法には、生きた動物を用いる以外にも、コンピュータシミュレーション、動画、精巧な3Dの模型など動物を犠牲にせずに学べる優れた教材も多数存在します。そのような動物を用いない方法を使用すれば、何回でも繰り返し学習でき、また生徒一人一人が自分のペースで行うことができるなど、多くのメリットがあります。解剖実習を行った生徒と動物を用いない方法で学んだ生徒では、その知識に差はない、もしくは、動物を用いない方法で学んだ生徒の方が優秀であったという、論文がいくつも発表されています。

### ■ 「解剖は認めない」学習指導要領に改訂して、解剖をなくす

JAVAではこれまで多くの学校に対して、解剖実習の廃止を働きかけ、実現させてきました。ほとんどがその学校の生徒たちからの「解剖をやりたいくない」「解剖をやらされて辛かった」「二度とやらないようにしてほしい」といった悲痛な訴えがきっかけでした。これ以上、犠牲になる動物を、そして、傷つく生徒を増やさないためには、日本のすべての学校から解剖実習をなくさなければなりません。それには各学校でのカリキュラム作成の基準となる学習指導要領を解剖が実施されないような改訂をする必要があります。平成27年度～28年度の2年間で、10年に一度の学習指導要領の改訂作業が行われます。

10年に一度のこのチャンスに、日本のすべての学校から解剖実習をなくしましょう！

- 集約期限は、2015年12月20日です。
- 1人でも多くの署名を集めていただき、下記「JAVA署名係」あてに郵送してください（FAX、メールは不可）。
- このご案内用紙と署名用紙のコピーは大歓迎です。この運動を周りの人たちに広めてください。
- コピーはA4サイズの白い用紙に、片面印刷してください。
- 署名用紙のダウンロードやキャンペーン情報はホームページにアクセスください（<http://www.java-animal.org/campaign-kaibou/>）
- 署名集約先：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-31 清桜404 JAVA署名係 TEL03-5456-9311
- 署名集約のためにお預かりした個人情報は、文部科学省への提出以外の目的には使用しません。



文科省へ直接要望もお願いします！

文部科学省初等中等教育局教育課程課

TEL：03-5253-4111(代表) FAX：03-6734-3734

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

メールフォーム：<https://www.inquiry.mext.go.jp/inquiry01>



**JAVA** NPO 法人 動物実験の廃止を求める会  
JAPAN ANTI-VIVISECTION ASSOCIATION

\* JAVAは特定の企業・政党・宗教とは関係のないボランティアの市民団体です。

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29番31号 清桜404 TEL：03-5456-9311 FAX：03-5456-1011  
URL：<http://www.java-animal.org> E-mail：[java@java-animal.org](mailto:java@java-animal.org)